

理科2年「翌日の天気予測」A.K教諭

※太白区の代表として研究授業を提案しました。



他校の理科の先生方が集まりました。

【授業の流れ】

- (1) ねらいの確認。「翌日の天気を予想する」
- (2) 班のメンバーで話し合う。



これまでの学びを生かす。

気象要素

気温、湿度、気圧、風

天気の変化に影響を与えるもの

気団、前線、高気圧・低気圧、季節風



- (3) 予想される天気図を、根拠をもとに発表。

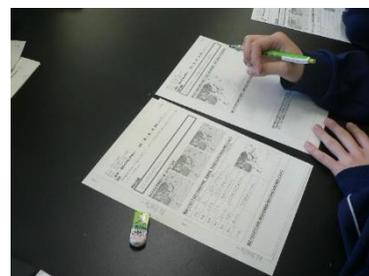


- (4) 実際の天気図の移り変わりを確認。

- (5) なぜ、予想と現実に違いが生まれたかを考え発表する。



- (6) 天気予報の楽しさや難しさをまとめる。



※次の時間では、天気予報が私たちの生活と密接に結び付いているだけでなく、災害の防止や減災など、命を守る行動につながることを学習する。

本校の今年度の重点目標

【授業改善】「自己との対話から学びを深め、他者を意識した表現を工夫する生徒の育成」